

## ■大会初日（予選リーグ）戦評

ベスト4入りを賭けた勝負の対JR東日本盛岡戦、同大会ベスト4常連の強豪チームとの対戦はエース同士が単複で対決する接戦の連続となった。

第一ダブルスは伊藤・村井。エースペア対決となった対戦は、相手の巧みな配給に得意の攻撃を封じられ、流れを引き寄せることができず第一ゲームを奪われる。続く第二ゲーム序盤は一進一退の展開となったが、終盤に連続失点を許し敗戦となった。

第二ダブルスの織山・野呂。第一ゲームは終始劣勢のままゲームを失う。第二ゲームは一転粘り強い守備とカウンターで先にゲームポイントを握るも接戦の末、敗れる。

追い込まれ後のない第一シングルスは村井。こちらもエース対決となった。負ければ勝負が決するこの場面、村井が質の高いラリー戦で競り勝ち第一ゲームを奪う。第二ゲームも両者譲らぬ展開となるが、相手の速い展開に徐々にスタミナが削られ第二ゲームを落とし、最終第三ゲームもその流れを断ち切れず惜敗となった。

敗戦決定後ではあったが、リーグ2位通過のため1ゲームでも勝利が必要な場面、第二シングルスの伊藤が主将の意地を見せ接戦を制し見事勝利、チームに貴重なポイントをもたらす。続く第三シングルスでは野呂が気迫溢れるプレーを見せるも、僅かにラリー及ばず敗戦。結果1-4の敗戦となった。

しかしながら対YKKAP東北戦、対IHI戦においては全て5-0の完勝で予選リーグ総合順位は2位となり、5-8位決定戦への進出が決定した。

(初日：予選リーグ) 社会福祉事業団 5-0 YKKAP東北(宮城)  
5-0 IHI(福島)  
1-4 JR東日本盛岡(岩手)

## ■大会二日目（5～8位決定戦）戦評

初日は単複を兼ねる試合が多く、選手全員が満身創痍の状態であったが、来年大会に向け第5シードを確保すべく、全勝目指し二日目の試合に臨んだ。

決定戦初戦のアグレッシブパンサーズ戦を3-1で勝利し、迎えた最終5位決定戦。第一ダブルス伊藤・村井が躍動。伊藤の巧みな返球、トリッキーな動きに合わせ村井が強烈なスマッシュを打ち込み終始相手を圧倒し完勝。第二ダブルス織山・野呂が我慢強いプレーで相手のミスを誘うもあと一步届かず敗戦。第一シングルス伊藤は主将の意地を見せ、巧みな配球で相手を寄せ付けず勝利する。第二シングルス村井はフィジカルも限界に近づくなか、得意の粘り強いラリーで相手のスタミナを奪い、最終ゲームは終始リードする安定した試合運びで勝利、エースの意地を見せた。結果キオクシア岩手戦も3-1で勝利し5位入賞が決定した。

目標であった3位入賞とはならなかったが、今大会においても出場全チーム中最も少ない選手登録数で臨み、チームの総合力で掴み取った5位入賞はたいへん価値のあるものであった半面、選手層の薄さを自覚せざるを得ないたいへんきびしい対戦が続いた。来年大会に向けてはフィジカル強化を含め個々のレベルアップを図りたい。

(2日目：5～8位決定戦) 社会福祉事業団 3-1 アグレッシブパンサーズ(秋田)  
3-1 キオクシア岩手(岩手)

## ■【伊藤広太(主将)】

「練習は週1～2回、練習場所は自分たちで確保します。練習メニューは私が組立てますが、皆が揃っての練習が難しいため主な練習は2対1のパターン練習やノックが中心となり、大会前はゲーム練習をする等して調整しています。また連戦を勝ち抜くためフィジカル強化は欠かせないので、各自ランニングやウエイトトレーニングで相応に仕上げるよう求めています。エースの村井、ベテランになりつつある野呂には更なるレベルアップを図ってもらい、織山・伊藤は怪我しないように頑張ります(笑)引き続き皆様に応援していただけるようなチームづくり目指しますので、今後とも応援の程よろしくお願い致します」